

放射線治療科に通院中の（または過去に通院されたことのある）
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] リンパ節転移のある前立腺癌に対する放射線治療の調査研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 放射線治療科・放射線医理工学教室 教授 清水 伸一

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

日本大学医学部附属板橋病院放射線科 前林 俊也

[共同研究機関名・研究責任者名]

日本大学医学部附属板橋病院放射線科 前林 俊也ほか

日本放射線腫瘍学研究機構参加病院

[研究の目的]

リンパ節転移のある前立腺癌の放射線治療については、1) 全骨盤照射後に局所照射、2) 局所照射のみ、3) 照射なしなど各施設で治療方針が異なっているものと考えられます。臨床的リンパ節転移のある前立腺癌は、全身病であり前立腺癌死する可能性がある。前立腺がん診療ガイドライン 2012 年版では、複数の治療法を組み合わせた集学的治療が必要とされているが、最適な治療法は定まっていません。最近の報告では、ホルモン療法に局所治療を併用することで上乗せ効果があるとされておりますが、前向き試験の報告はありません。本研究の目的は、本邦でのリンパ節転移のある前立腺癌に対する放射線治療の現状を把握することです。本研究は、より多くの症例データを短期間で集積するために計画された多施設共同研究であり、既存の資料を後方視的に調査する観察研究です。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

リンパ節転移のある前立腺癌と診断され、2011 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日までに当院で前立腺癌に対する放射線治療を受けた方

○利用するカルテ情報

病期、前治療、併用療法、後治療、病理組織、組織型、治療期間、照射野、線量、治

療効果、有害事象、予後など

本研究は特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構（JROSG）の後援で行われます。「追跡調査表」が JROSG 事務局（データセンター）からされ、各施設でデータ入力後、「追跡調査表」を事務局に返送する形でデータ集積を行います。

集積するデータは、病気の広がり、放射線治療前の治療、放射線治療との併用療法、放射線治療後の治療、病理組織、組織型、放射線治療期間、放射線のあたる範囲、放射線の量、治療効果、有害事象、予後などです。これらは通常、臨床経過をみるための検査としてすでに実施されているものです。

これらのデータをもとに、これからのリンパ節転移のある前立腺癌の放射線治療の実態調査を行います。

[研究組織]

日本大学医学部附属板橋病院放射線科 外来医長 前林 俊也
京都大学医学部附属病院 放射線治療科 溝脇 尚志
日本放射線腫瘍学機構参加施設 全 135 機関
日本放射線腫瘍学機構公式ホームページ <http://www.jrosg.jp/>

[研究実施期間] 実施許可日～2019年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院放射線治療科 担当医師 清水 伸一
電話 011-706-7798 FAX 011-706-7876